

2021年2月21日(日)

子どもレンジャークラブ⑪

～カモを探そう!～

今回のテーマはカモの識別です。園内には毎年様々な種類のカモが飛来しますが、識別するのは難しいものです。そこで今回は、オスガモの識別する時のポイントを学びます。どこを見ると良いのでしょうか？

ガイダンス



まずは、園内に飛来するカモの紹介です。イラストで見ると種類によって特徴が違うのが分かります。



実物を観察する前に、それぞれの特徴を覚えておきます。頭やくちばしの色を覚えるだけでも種類が絞れます。

野外観察



実際に淡水池のカモを観察してみます。実物は写真のように見やすいわけではありません。くちばしを隠していたり、角度が悪くておしりしか見えなかったり…。また光の当たり方によって違う色に見えることもあります。



淡水池の周りを歩いて、見やすい場所を探します。玄関前で観察するよりも近いので分かりやすいカモ？



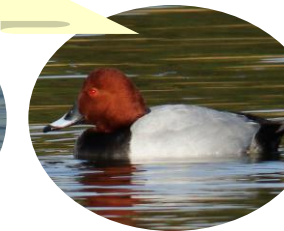
観察して見つけた特徴などを観察シートに書き込みます。汽水池のウミアイサはよく潜るので、ゆっくり観察出来ません。しかし、この「頻りに潜る」という行動もウミアイサの特徴です。

まとめ



レクチャーホールに戻って観察出来たカモたちの特徴を発表していきます。みんなの意見をまとめると、より特徴がはっきりして識別点が分かりました。

観察出来たカモ



冬になるとよく見かけるカモですが、識別点が分かるとどんなカモが家のまわりにいるのかが分かります。そして、名前が分かる鳥が増えるとバードウォッチングがもっと楽しくなりますよ。